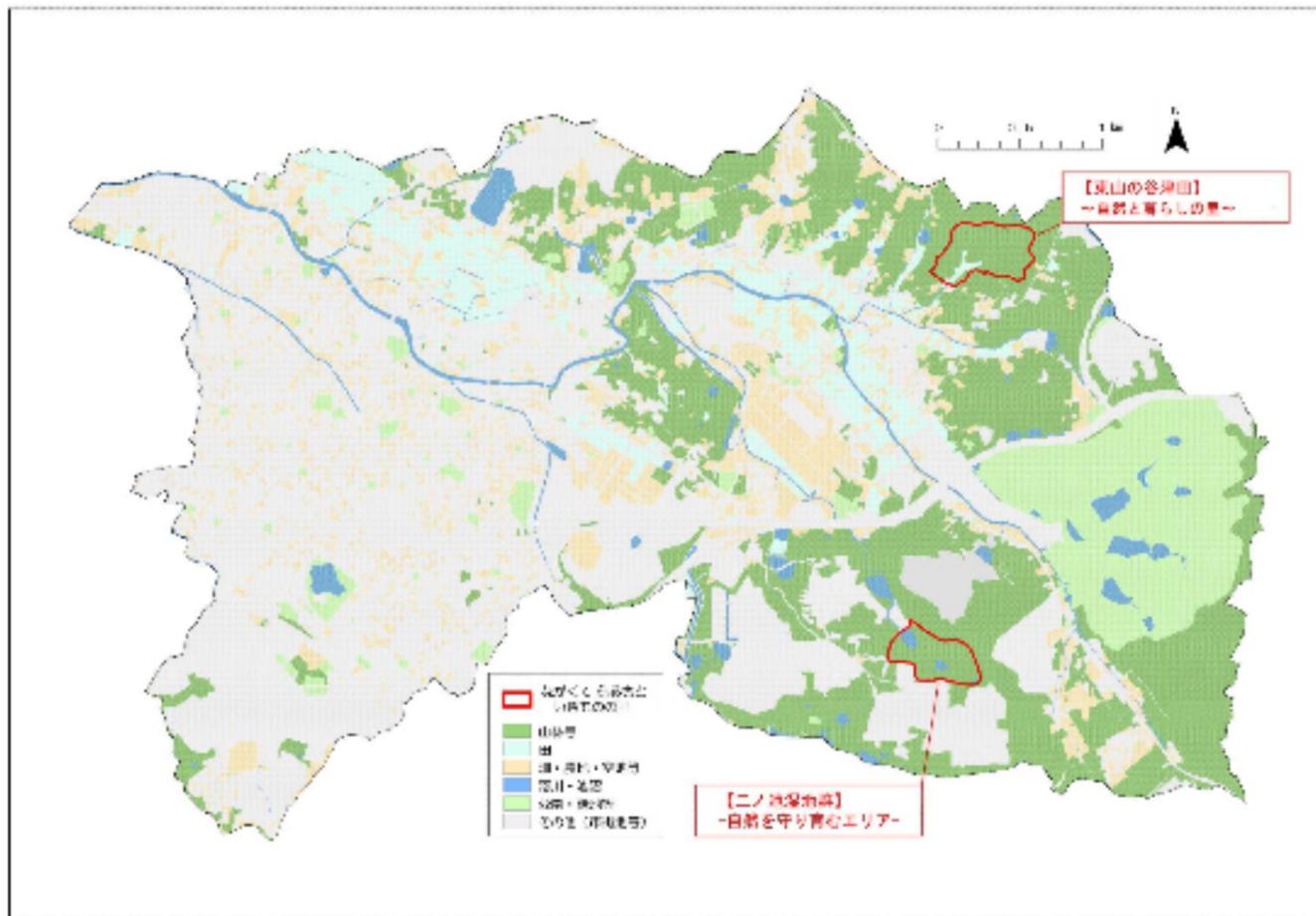


ながくて ふるさと いきものの里 (案)

長久手市は、次世代を担う子どもたちに、より良い環境を残し、生物多様性の恵みを楽しんでいけるよう、私たち人間も生態系の一部であることを理解するとともに、「自然の叡智」をテーマにした愛・地球博の理念を継承し、「人と地域がつながり、自然と環境にこだわるまち」の実現に向け、生態系を保護するエリア『ながくて ふるさと いきものの里』を設定します。

今回は、豊かな自然環境や多様な動植物の存在を共有し、それらを保全し、次世代に引き継いでいくための「自然を守り育むエリア」としての【二ノ池湿地群】、生物多様性の恵みに感謝し、人が手を加えることで守り伝えていく「自然と暮らしの里」としての【東山の谷津田】を指定します。

平成31年3月1日 長久手市長 吉田一平



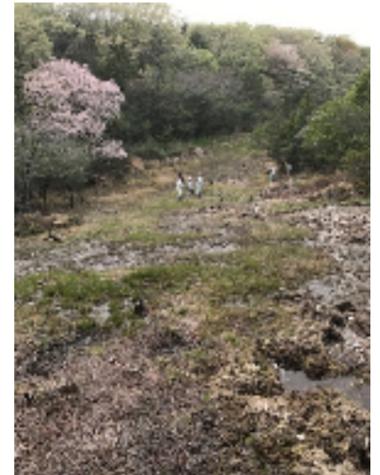
【二ノ池湿地群】 ~自然を守り育むエリア~

所在地 長久手市前熊一ノ井地内

二ノ池湿地群は、市の南東部、三ヶ峯丘陵に位置する二ノ池上流の谷一体の湿地群です。

池の上流の谷底は低湿地となり、斜面には典型的な貧栄養の湧水湿地が点在し、「東海丘陵要素植物群」をはじめとする湿地固有の動植物の生息生育が確認されています。また、堀越川の源流部にあたり、自然性の高い沢や周辺の樹林もこの地域の典型的な二次林の様相を呈しており、ほ乳類や多くの樹林性鳥類の生息の場となっています。

二ノ池湿地群については、2021年の湿地サミット開催に向けて、2019年に『二ノ池湿地群保全管理計画』を策定し、概ね5年ごとに中間的な見直しを行い、10年ごとに全体的な見直しを行います。



【東山の谷津田】 ~自然と暮らしの里~

所在地 長久手市東山、福井周辺

東山の谷津田には、市の北東部、大草丘陵の二次林の間の谷に位置する耕地整理されていない自然性の高い水田や水路が残っています。

本市内で少なくなった谷津田は、上流に見られる貧栄養の湧水湿地では湿地固有の貴重な動植物が確認されるなど、隣接する樹林や水田、草地と合わせ多種多様な動植物の生育生息に適した環境であり、豊かな生態系が形成されています。

東山の谷津田については、2018年度策定の『里山基本計画』と調整しながら、保全をしていきます。



※注意事項

「ながくて ふるさと いきものの里」に指定することにより、私権を制限するものではありません。